



アオサギ（コウノトリ目サギ科） *Ardea cinerea* の群れ

大きさ：93cmほど。

特 徴： ダイサギより大きい。脚が長い。くちばしは黄色。
岸や水の中で、じっとたたずんでいる。

生態（時期）：9月～5月。 冬に群れで渡来する。

写真（左）は、まるで干潟で生き物観察をしている人たち？かと思われたが、良く見るとアオサギの群れであった。干潟の上で、じっとたたずんでいる姿は、まるで人間のようであった。

写真（右）は、干潟でたたずむ鳥ではなく、生き物観察をする人間である。

今、泡瀬干潟や県内各地の干潟・水田には、北の国から多くの渡り鳥が飛来している。鳥たちの目当ては、干潟等にすむ豊富な小さな生き物たちであり、秋から冬にかけて、それら多くの生き物を食べる。たたずむ場所には、おそらくエサとなる小さな生き物や魚たちがいるのであろう。鳥は、よく環境を知っている。